

■現状・課題

- ・金沢市と比べて観光客が少ない
- ・能登半島はアクセス所要時間が長い
- ・能登が公共交通機関を利用した観光に適さない

	自動車	公共交通機関
七尾	246	20
金沢	459	181

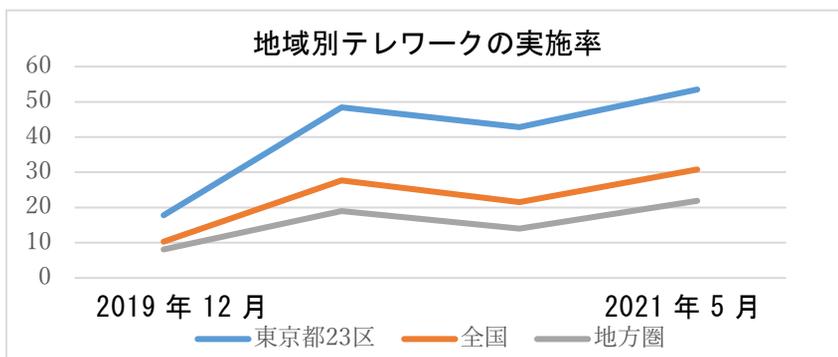
アクセス時間	半島地域の市町村平均
空港	88分
新幹線	123分

■仮説

- ・能登地方は半島にあるという地理的な条件により、能登が最終目的地にしかならず、観光客が訪れにくいのではないかと
- ・公共交通機関が不十分であり、観光での利用に向いていないのではないかと

■アドレスホッパーとは？

アドレスホッパーとは、定住する家を持たずに移動しながら生活する人々や生き方のこと。

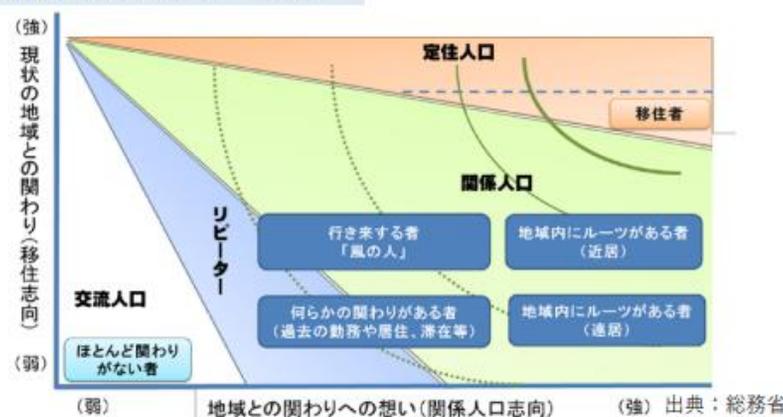


<https://www5.cao.go.jp/keizai2/wellbeing/covid/pdf/resu>

■解決策

目的地として能登地方を訪れ、かつ移動手段が自動車であるアドレスホッパーをターゲットにした観光資源を作成し、売り込むことで関係人口の増加による経済効果を期待する。

「関係人口」のイメージ図



<https://www.gyokaku.go.jp/review/aki/r01hiroshima/img/s15.pdf>

■アドレスホッパーのニーズ

- ・清潔な宿泊施設
- ・その土地の伝統文化体験
- ・その土地の人との交流



[https://colocal.jp/topics/think-japan/local-action/20191216\\_131141.html](https://colocal.jp/topics/think-japan/local-action/20191216_131141.html)

■具体的な内容

- ・アドレスホッパーをターゲットにしたゲストハウスの運営

■既存のサービスとの違い、メリット

提供者側の利点

- ・地元住民による郷土料理の提供
- ・地元住民の指導による郷土料理指導、調理体験

能登の伝統文化の存続につながる

消費者側の利点

- ・空き家の利用により、宿泊費を安くすることが可能
- ・祭り仲介サービスの実施により現地の方との交流！
- ・ゲストハウス内で能登の伝統行事体験を行う  
(例 あえのこと いどり祭 あまめはぎ)

■効果

- ・関係人口の増加による、観光活性化
- ・能登の伝統文化の発信、継承

一人当たりの能登に対する支出（円）

	宿泊費	食費	交通費(ガソリン代)	その他
一人当たりの費用(1カ月)	90,000	60,000	25,000	35,000

<https://ayakae0920.com/addresshopper-chintai-toku-meritto->

■結論

- ・能登が公共交通機関を利用した観光に適さないことから、地理的な条件の影響を受けにくいアドレスホッパーにターゲットを絞り、観光客の増加及び伝統文化の継承を図る場としてゲストハウスの運営を行う。
- ・アドレスホッパーを媒介として、関係人口を増やす。